

魅力と期待の集まる新本部整備

— 新本部における新事業/高度分析開発セクターについてのご紹介 —

4月号から全12回のシリーズで始まった、「魅力と期待の集まる新本部整備」として、平成23年度開設予定の新本部整備進捗状況と新事業である高度分析開発セクターについて紹介します。

新本部の工事進捗状況

建築工事は、2階から内部仕上げ、耐火被覆と階下より順次進捗しています。図1では、屋上外周の目隠しルーバの下地や右手前の照明実験室屋根部がご覧頂けます。6月末で建築工程の73%が完成します。



図1 新本部建設現場全景
(H22.6.15撮影)



図2 透過電子顕微鏡室廻り
(H22.6.16撮影)

新事業、高度分析開発セクター

高度分析開発セクターでは、ナノレベルの構造解析、表面分析、微量分析、物性評価、形状評価を可能とし、開発から実用化の幅広い領域で、高品質、高性能なものづくり支援をします。世界に通用する新技術・新製品の研究開発支援や、異物混入や不具合発生時の原因究明などの事故原因解析支援などが強く求められています。新本部におきましては、1階に高度分析機器の集中配置を行ない、相補的な中小企業支援を行ないます。

当セクターの主な設置予定の機器

- 走査電子顕微鏡(図3左)、透過電子顕微鏡：ミクロからナノレベルの表面形状・状態観察、さらに局所分析が行えます。
- イオンビーム分析装置：サブナノレベルの超薄膜の組成分析が行えます。
- 飛行時間型-誘導結合プラズマ質量分析装置：極微量の不純物元素分析が行えます。
- 核磁気共鳴分析装置(図3右)：高機能性材料やバイオ分野での有機物の構造解析や機能改善に役立ちます。
- 超精密三次元形状測定機：表面形状・形態の正確な計測が行えます。



図3 設置予定の機器

(左：走査電子顕微鏡、右：核磁気共鳴分析装置)

新拠点新本部に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画部 新拠点準備室 <西が丘本部>

山本 克美 TEL 03-3909-2176

E-mail: yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設